

24. 泌尿器科(選択)

1. 一般目標(GIO)

- (1)一般医として必要な泌尿器科領域の診察法、診断法、治療法を理解する。
- (2)比較的簡単な泌尿器科的処置、手技手法を行う能力を習得する。
- (3)泌尿器科専門医に紹介すべき疾患を理解する。
- (4)幅広い人間形成を行い、チーム医療の一翼を担う態度を身につける。

2. 行動目標

- (1)代表的疾患の診断、処置に加わる。
- (2)代表的疾患を受け持ち、診察、検査、治療に関る。
- (3)患者さんや家族の心情に配慮する。
- (4)カンファレンスや抄読会に参加する。
- (5)スタッフと良好なコミュニケーションを図る。
- (6)泌尿器科的救急疾患の診断・治療を実施する。
- (7)泌尿器科疾患を鑑別し、必要に応じて専門医へ紹介する。

3. 研修目標

- (1)経験したほうがよい主要疾患
 - 1)前立腺肥大症
 - 2)前立腺がん・膀胱がん・腎がん
 - 3)神経因性膀胱
 - 4)腎・尿管結石
 - 5)腎盂腎炎
 - 6)腎後性腎不全
- (2)研修すべき主な診断・検査法
 - 1)腎、膀胱、精巣、前立腺の超音波検査
 - 2)尿道、前立腺分泌物採取
 - 3)残尿測定
 - 4)内視鏡検査
 - 5)経静脈的／経尿道的腎盂造影、膀胱尿道造影
 - 6)検査を指示し、結果を解釈できる。
 - ① 尿細菌学的検査、感受性試験
 - ② 尿道、前立腺分泌物細菌学的検査、感受性試験
 - ③ 一般血液検査
 - ④ 核医学的検査(レノグラム・骨シンチグラム)
 - ⑤ 副腎、腎、尿管、膀胱、前立腺CTスキャン、MRI
 - ⑥ 内分泌学的検査
 - ⑦前立腺、精巣腫瘍マーカー

⑧ 尿細胞診検査

⑨ 一般検尿

(3) 研修すべき治療法

1) 薬物療法

① 尿路感染症

② 排尿障害

③ 尿路性器腫瘍(抗癌剤の効果、副作用の定量的評価)

2) カテーテル留置に関する基本手技の理解と実践

① 導尿法

② 体外留置カテーテル交換

③ 腎盂洗浄、膀胱洗浄

3) 泌尿器科の手術手技

* 助手として参加する手術

① 観血的手術

② 内視鏡的手術、腹腔鏡的手術

* 執刀医としての手術

① 陰嚢手術

② 前立腺針生検

4. 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30～	朝回診	朝回診	朝回診	朝回診	朝回診
9:00～	外来・処置	回診	回診	外来	手術
11:00～		手術			
13:00～	外来・処置		手術		
15:00～				処置	
16:00～	夕回診 症例検討	夕回診	夕回診	夕回診	夕回診 症例検討

5. 研修方法

(1) 病棟回診に参加する。

(2) 検査、薬剤の処方指示する。

(3) 病棟看護師の報告を受け、適切に判断、指示を行う。

(4) 外来新患者の問診を行い、指導の指示のもとに検査を行う。

(5) 症例検討会に出席する。

(6) 手術に助手、ときに執刀医として参加する。

(7) 挨拶を励行し、医療チームの一員として戦力になることを心がける。